保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書およびユーザー登録カードが添付されています。
保証書は必要事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間は、お買い求めの日より1年間です。
ユーザー登録カードは必要事項をご記入の上、ご返送ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、弊社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理をいたします。ただし、取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった結果に基づく故障・損傷、人身事故については弊社では責任を負いかねますのでご了承ください。

アフターサービス

故障かなと思ったらまずチェックを

この取扱説明書の「故障かなと思ったら」(P.24, P.25)をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

弊社お客様窓口 0120−8020−96 までご連絡ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

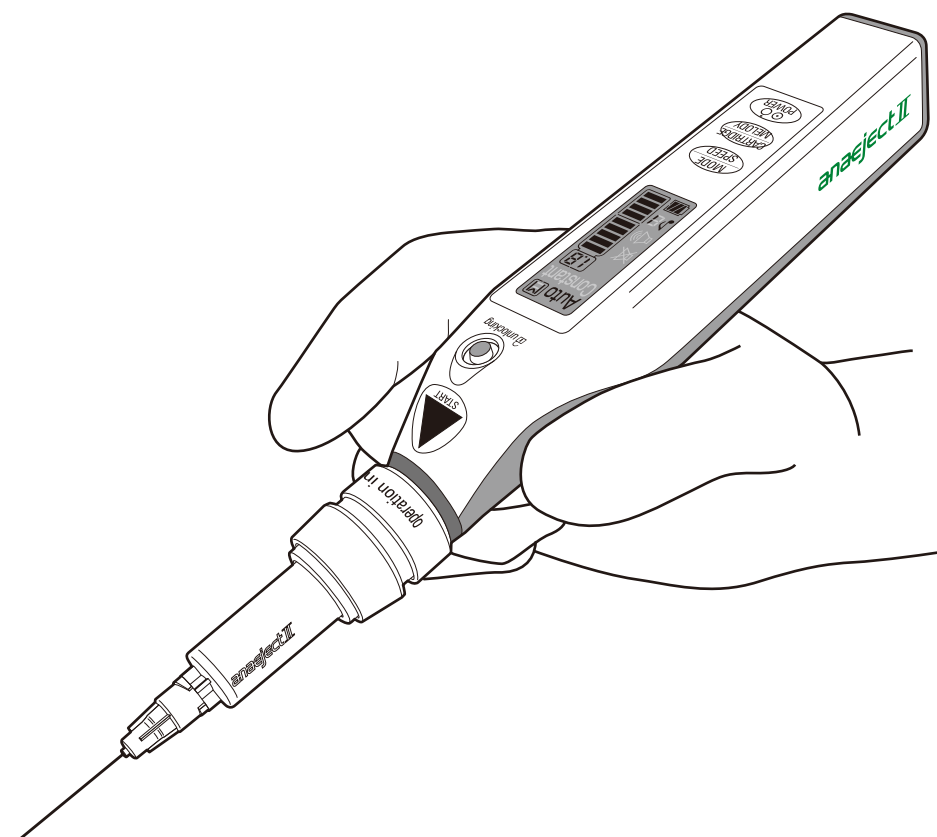
補修用性能部品の保有期間

弊社は、アネジェクトII 補修用性能部品を製品の製造打ち切り後6年保有しています。

アフターサービスを依頼するときは

必ず本体、充電器、ACアダプター、カートリッジホルダーをご用意ください。
すべてそろっていないと修理できないことがあります。

[製造販売元] 日本歯科薬品株式会社
〒750−0015 山口県下関市西入江町2−5 [お客様窓口] 0120−8020−96
[ホームページ] http://www.nishika.co.jp/
[製　造　元] 富士電機エフテック株式会社

N-AJII-1

安全にお使いいただくために
はじめに
各部の名称
図記号
操作の流れ
使用方法
保守管理
異常または故障時の処置
その他

コンピューター制御 コードレス電動注射器

アネジェクトII
取扱説明書

日本歯科薬品株式会社

目 次

安全にお使いいただくために

つづく

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

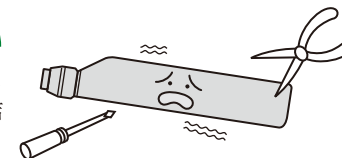
表示内容を無視して間違った使いかたをしたときに生じる危害や損害の内容を次の表示で区分し、説明しています。

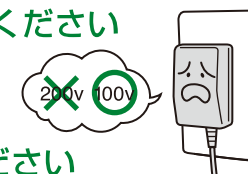
⚠警告……人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

⚠注意……傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

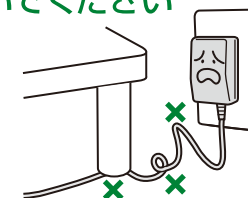
■ 改造、分解をしないでください

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。内部の点検・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください。

■ 指定以外の電圧では使用しないでください

ACアダプターは、AC100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 指定以外のものは使用しないでください

指定以外のACアダプターや充電器などを使用しないでください。火災・事故の原因となります。

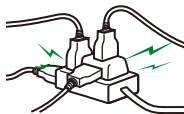
■ 電源コード・電源プラグを傷めないでください

曲げる、ねじる、引っ張るなど無理な力を加えたり、高温部に近づけたり、重いものを乗せたり、束ねたまま使用しないでください。また、電源プラグを抜くときはコードを持って引き抜かないでください。
火災・感電の原因となります。

■ ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください

感電の原因となります。

⚠警告

■ タコ足配線はしないでください

タコ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。

■ 水や異物が内部に入らないよう注意してください

本体ケースに破損や割れがある場合は水洗いしないでください。火災･感電の原因となります。特に、センサー部や操作パネル部、本体後方のシールは他の部分と比較すると破損しやすくなっていますので注意してください。

■ 歯科用注射針を取り付けずに使用しないでください

カートリッジを装填してから歯科用注射針を取り付けずに動作させないでください。本体やカートリッジホルダーに負荷がかかり、カートリッジが割れ、けがをする恐れがあります。

■ 電磁波を発生させるものの近くで使用しないでください

使用中は、至近距離に携帯電話など電磁波を発生させるものを近づけないでください。電波障害により動作を停止したり、故障の原因となります。

■ 異常が起きたら使用を中止してください

次のようなときは使用を中止し、点検･修理をお買い求めの販売店にご依頼ください。

○ 内部に水や異物などが入ったとき
○ 落下などの衝撃により、本体ケースおよび充電器、ACアダプターが破損したとき
○ 作動しなくなったとき
○ 異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき

そのまま使用すると、火災･感電の原因となります。

⚠注意

■ 特定保守管理医療機器です

本製品は適正な管理が必要とされる特定保守管理医療機器ですので、歯科医師もしくは有資格者以外は使用しないでください。

■ 歯科用局所麻酔専用です

歯科治療における局所麻酔の目的以外で使用しないでください。

⚠注意

■ 本体は指定以外の方法で洗浄をおこなわないでください

○ 超音波洗浄器で洗浄はしないでください。
○ アネジェクトⅡ用クリーナー以外の洗浄剤は使用しないでください。

■ 本体・充電器・ACアダプターはオートクレーブ滅菌やケミクレーブ滅菌をおこなわないでください

故障の原因となるので、オートクレーブ滅菌などはおこなわないでください。

■ 本体･充電器･ACアダプターは消毒薬などに浸漬しないでください

故障の原因となるので、消毒薬などには浸漬しないでください。

■ 充電器、ACアダプターは洗浄しないでください

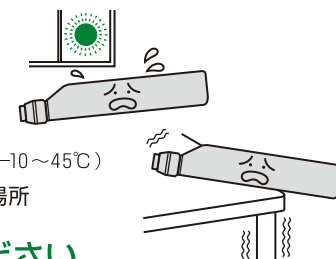
防水仕様ではないので、洗浄しないでください。

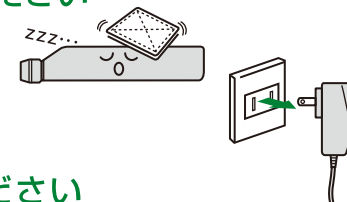
■ 有機溶剤が付着しないよう気をつけてください

本体ケースや充電器ケースが破損したり、センサー部や操作パネル部、本体後方のシールがはがれる恐れがあるので、有機溶剤が付着しないように注意してください。

■ 設置･保管･使用場所には気を付けてください

故障を防ぐために次のような場所には設置･保管しないでください。また、使用も避けてください。

○ 直射日光の当たる場所やUV灯の近く
○ 不安定な場所、振動の多い場所
○ 高温または極端に低温な場所（保管温度範囲：−10～45℃）
○ 湿度が高い場所や、ゴミ、ほこりなどの多い場所

■ 日常点検は十分におこなってください

安全のため、本体のお手入れは必ず電源を切ってからおこなってください。また、充電器のお手入れは必ずACアダプターをコンセントから抜いて、おこなってください。

■ 充電の異常には気を付けてください

所定の充電時間（およそ6時間）を経過しても充電が完了しないときには、充電を中止してください。発熱･破裂･発火の原因となります。

はじめに

このたびはコンピューター制御コードレス電動注射器「アネジェクトII」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
アネジェクトIIは歯科麻酔処置に用いる電動式注射器です。安全にご使用いただくには、正しい使用方法を守っていただくことが必要です。ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みの上、お使いください。
また、この取扱説明書は保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保管してください。

アネジェクトIIの特長

操作性を追求したデザインで、ペン感覚で使えるアネジェクトIIはより自由で繊細な操作が可能です。
「痛みやストレスの少ない注射」へのこだわりと麻酔注射をサポートする充実の機能を備えています。

「痛みやストレスの少ない注射」へのこだわり

①注入速度を自動的にコントロール

注入開始時は低速でその後、ゆるやかにスピードがあがります。痛みを抑え注入にかかる時間を短縮できるので患者さんのストレスを軽減します。

②麻酔剤注入時の力は不要

組織の硬さに合わせて注入圧力を自動的にコントロール。力をかけることなく、楽に麻酔注射ができるので、針をすすめることだけに集中できます。

③指で触れるだけのセンサー式スイッチ

注射開始はスタートセンサーに触れるだけ。スタートセンサーに触れている間、注射が継続します。指で触れるだけだから、痛みの原因となる針先のブレを抑えます。

④6曲から選べる注射中のメロディー

アネジェクトIIはお好みに応じて、メロディーを流すことができます。メロディーが、患者さんの不安や恐怖感を軽減させます。また患者さんとのコミュニケーションツールとしてお使いいただけます。

麻酔注射をサポートする充実の機能

①1.8mL、1.0mLカートリッジ共用

1.8mL、1.0mLいずれのカートリッジも装着可能、ボタン1つで簡単に切替ができます。

②注入量表示機能

麻酔剤の注入量をディスプレイにリアルタイム表示。動作確認ランプのフラッシュ光、ブザー音でもおおよその注入量が確認できます。

③注射中に見やすい動作確認ランプ

目線が集中する前方に動作確認ランプを配置することで動作確認が容易になりました。

④軽量・コンパクトでも十分な駆動時間

リチウムイオンポリマーバッテリーを採用し、連続しておよそ30本注射が可能※です。
※ Constant M 約1MPaの条件下でメロディーを流した場合の目安です。連続駆動時間はバッテリーの劣化に伴い短くなります。
※ 1.8mLカートリッジ使用の場合です。

⑤無接点充電方式を採用

「接点の劣化」や「汚れの付着により充電ができなくなる」等の故障の心配がありません。

⑥水洗い可能

防水設計の本体は水洗いが可能です。

標準セットの内容

各部の名称

本体

本体

センサーロック
解除ボタン(→P.15)

注入モード／注入速度
切替ボタン(→P.12)

電源ボタン
(→P.12,P.19)

スタートセンサー
(→P.15,P.16)

ディスプレイ
(→P.12)

カートリッジ／メロディー
切替ボタン(→P.12, P.17)

カートリッジホルダー着脱リング(→P.19)

動作確認ランプ(→P.16)

プランジャー(→P.12)

充電キット

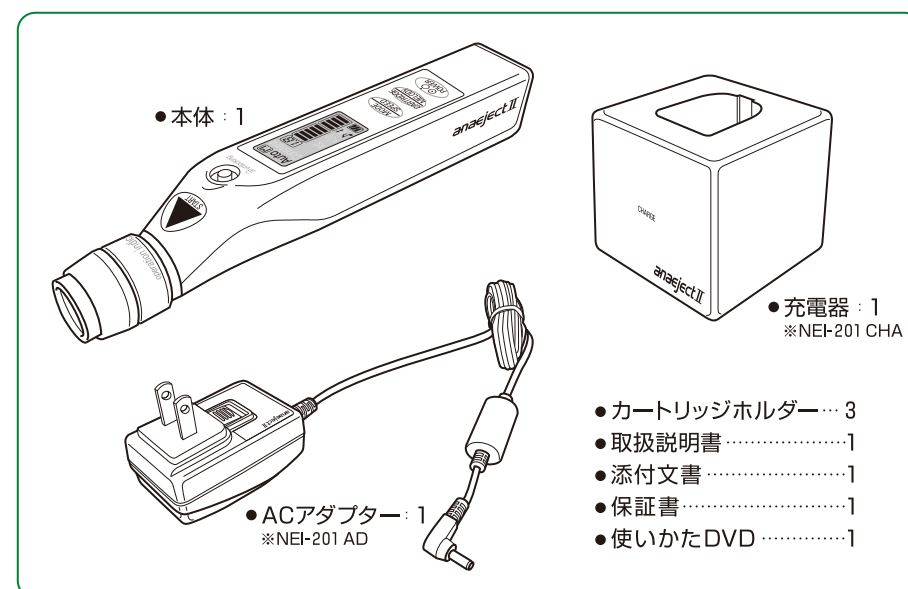
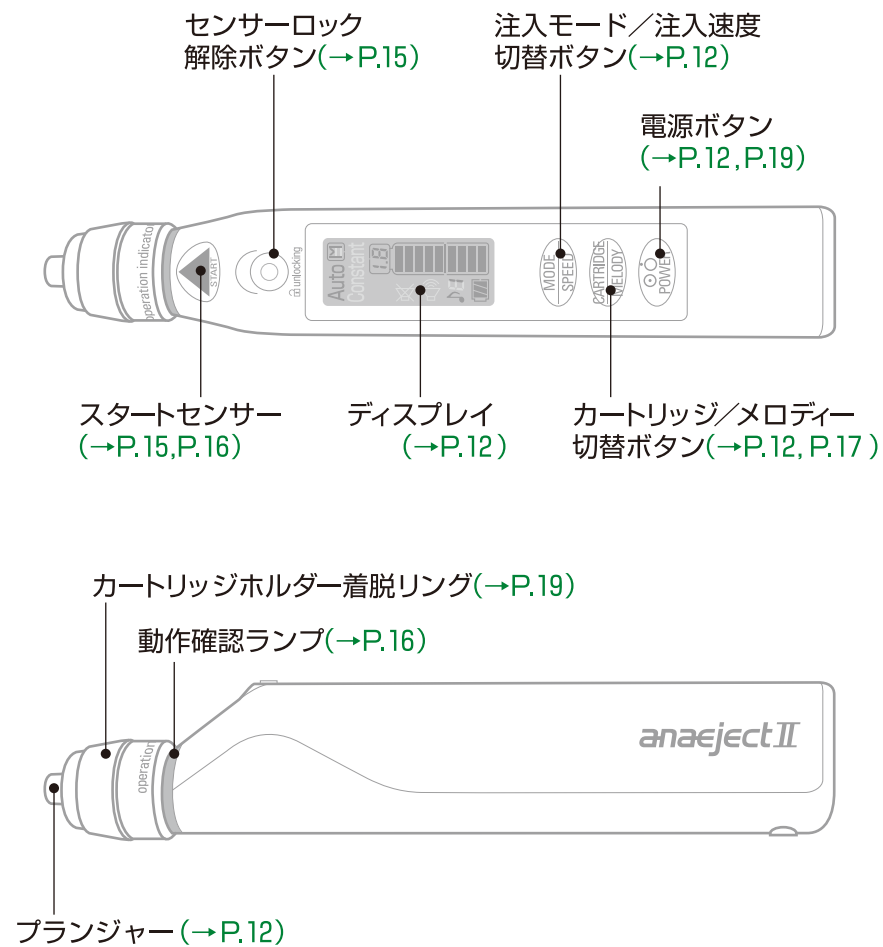
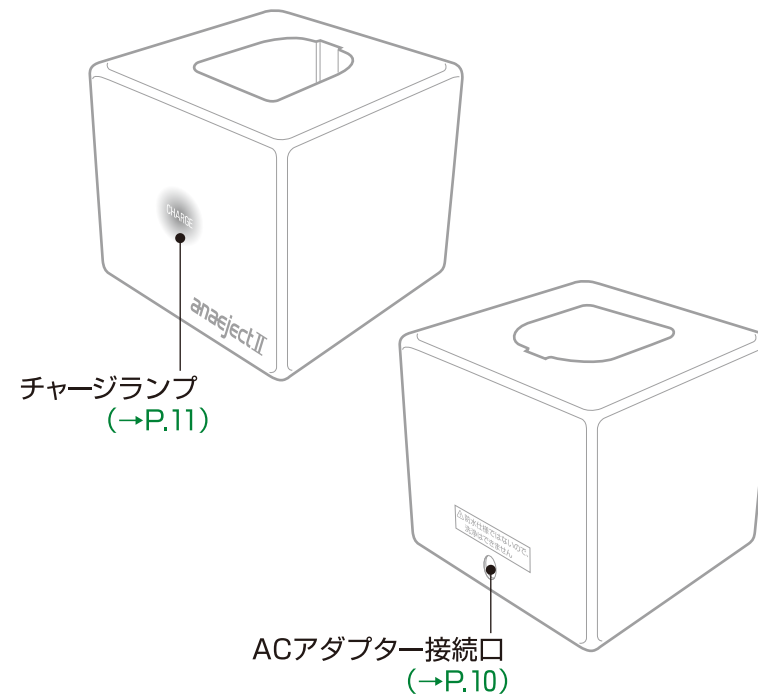
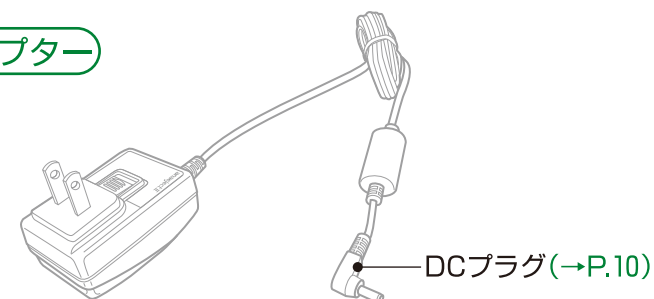
充電器

チャージランプ
(→P.11)

ACアダプター接続口
(→P.10)

ACアダプター

DCプラグ(→P.10)

図記号

アネジェクトⅡに表示されている図記号

図記号	説　明
⊙ Ö	電源オン／電源オフ
▲	注射開始（プランジャー前進）
🔓	スタートセンサーロック解除
▮▮▮	バッテリー残量
♪	ボタン操作音および注入中のメロディーが鳴ります
🔊	ボタン操作音および注入量確認音が鳴ります
🔇	警報音やお知らせ音以外の音は鳴りません
⊖-●-⊕	外部DCインレットの極性
🏭	製造販売元
🚶	B型機器
IPX7	15cmから1mの水深での浸水に対する保護
⚠	注意

操作の流れ

アネジェクトⅡの操作の流れ

操作	説明
電源を入れる	電源ボタン（POWER）を1回押して、電源を入れてください。
↓ 使用するカートリッジを設定する	カートリッジ／メロディー切替ボタン（CARTRIDGE MELODY）を約2秒間押して、1.8mL、1.0mLいずれかに設定してください。
↓ プランジャーがスタート位置に戻っていることを確認する	電源ボタン（POWER）を2回押してください。プランジャーがスタート位置に戻っていない場合は、プランジャーが戻ります。
↓ 注入モードを設定する	注入モード／注入速度切替ボタン（MODE SPEED）を約2秒間押して、AutoモードかConstantモードのいずれかに設定してください。
↓ 注入速度を設定する	注入モード／注入速度切替ボタン（MODE SPEED）を押して、L、M、Hのいずれかに設定してください。
↓ カートリッジを装填する	カートリッジホルダーにカートリッジを装填してください。
↓ カートリッジホルダーを取り付ける	カートリッジホルダーを本体に取り付けてください。
↓ 歯科用注射針を取り付ける	カートリッジホルダーを回転しないよう指で固定して、注射針を取り付けてください。
↓ スタートセンサーのロックを解除する	センサーロック解除ボタン🔓を押して、スタートセンサー▲のロックを解除してください。
↓ 動作確認をする	針キャップをはずし、スタートセンサー▲に指で触れ、動作確認をしてください。
↓ 注射を開始する	スタートセンサー▲に指で触れて、注射を開始してください。
↓ 注射を停止する	スタートセンサー▲から指を離し、注射を停止してください。
↓ 電源を切る	電源ボタン（POWER）を約2秒間押して、電源を切ってください。
↓ 洗浄・滅菌する	本体およびカートリッジホルダーは、日常のお手入れ（P.20、P.21）に従って洗浄・滅菌してください。

つづく

はじめてご使用になるとき(充電のしかた)

本体の充電をします。

お買い上げ時、バッテリーは完全に充電されていません。
次の手順で充電してお使いください。
また、バッテリー残量が低下した際も同様の手順で充電してください。

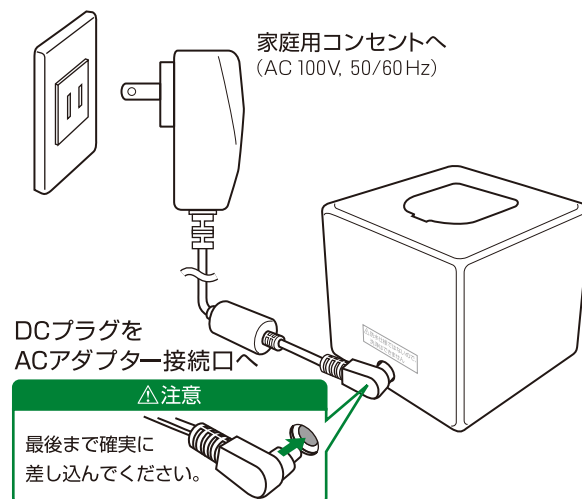
⚠注意

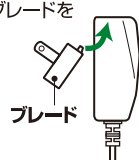
使用前にバッテリー残量を確認してください。

1 充電器にACアダプターをつなぎます。

付属のACアダプターを充電器および家庭用コンセント(AC 100V, 50/60Hz)に差し込んでください。

⚠注意

最後まで確実に差し込んでください。

ACアダプターのブレードがはずれてしまったら

図のようにブレードを合わせる

カチッと音がするまでしっかり押し込む

連続駆動時間について

バッテリーが完全に充電された状態での連続駆動時間は次の通りです。

注射中にメロディーを流した場合
およそ1.5時間 1.8mLカートリッジ およそ30本分

注射中にメロディーを流さない場合
およそ 2時間 1.8mLカートリッジ およそ40本分

※Constant M、負荷約1MPaの条件下で注射をした場合の時間です。
※連続駆動時間はバッテリーの劣化に伴い短くなります。

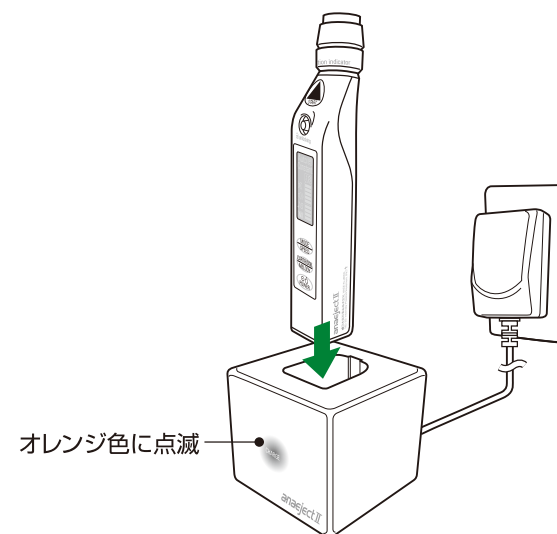
ディスプレイに表示のバッテリーマーク▥について

バッテリー残量が少なくなるにつれ、バッテリーマーク▥が次のように変わります。

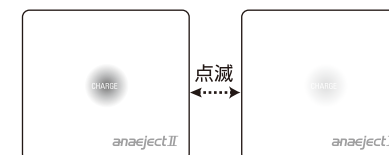
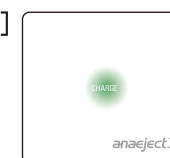
▥→▥→▯→点滅

充電が必要になると、バッテリーマーク▥が点滅します。同時に「ピピピッピピピッピピピッ…」と警報音が鳴りますので、充電をしてください。

2 本体を充電器にセットします。

本体の向きを確認し、充電器にセットしてください。
正しくセットされると充電器のチャージランプがオレンジ色に点滅し、充電が始まります。チャージランプが緑色に点灯したら、充電完了です。

[充電中]
オレンジ色の点滅

[充電完了]
緑色の点灯

※充電完了直後は本体後方付近が温かくなりますが、充電時に発生した熱によるものであり、異常ではありません。

⚠注意

ACアダプター接続口とDCプラグ、ACアダプターと家庭用コンセントがしっかりと接続されているか時々確認してください。

充電時間の目安

バッテリーマーク▥が点滅し、「ピピピッピピピッピピピッ…」と警報音が鳴った状態から、完全に充電されるまでにかかる時間は**およそ6時間**です。
※充電時間はバッテリーの使用状態により異なります。

アネジェクトIIの使いかた

1 電源を入れます。

電源ボタン（POWER）を1回押してください。
動作確認ランプおよびディスプレイが点灯します。
ブザーが鳴り、ディスプレイが全表示されるのを確認してください。

2 使用するカートリッジを設定します。

カートリッジ／メロディー切替ボタン（CARTRIDGE MELODY）を約2秒間押し、1.8mL、1.0mLのいずれかに設定してください。
ディスプレイの表示が1.8mL、1.0mLのいずれかに切替わり、自動的にプランジャーの位置が調節されます。

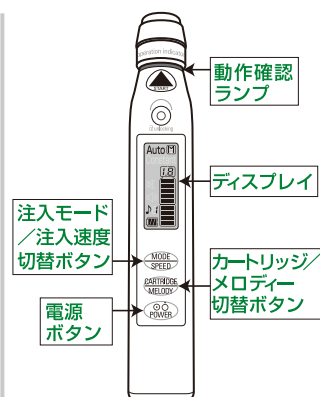
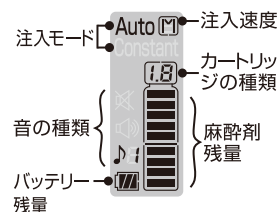
3 プランジャーがスタート位置に戻っていることを確認します。

電源ボタン（POWER）を2回押してください。
プランジャーがスタート位置に戻っていない場合は、プランジャーが戻ります。

4 注入モードを設定します。

注入モード／注入速度切替ボタン（MODE SPEED）を約2秒間押して、注入モードを『Autoモード』か『Constantモード』のいずれかに設定してください。

5 注入速度を設定します。

注入モード／注入速度切替ボタン（MODE SPEED）を押して、L、M、Hのいずれかに設定してください。

ディスプレイ表示内容

注入速度切替について

注入モード／注入速度切替ボタン（MODE SPEED）を押すごとにL→M→H→L→…の順に切り替わります。

AutoⓁ → AutoⓂ → AutoⒽ → AutoⓁ → …

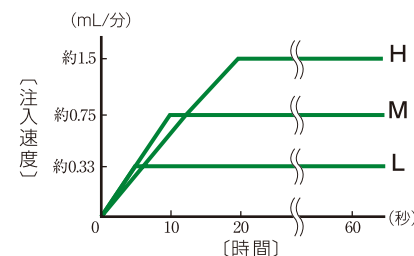
前回電源を切った時の速度設定は記憶されています。

⚠注意

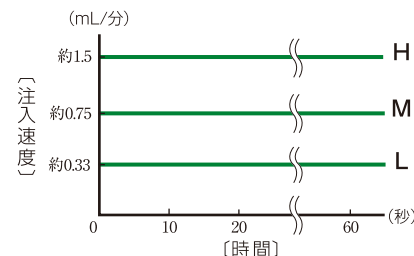
ボタン・センサー類は必ず指で操作してください。鋭利なペン先などで操作すると、操作パネル面を破損する恐れがあります。

注入モード・注入速度について

『Autoモード』

注射開始時は低速でその後、ゆるやかにスピードがあがるモードです。痛みを抑え、注入にかかる時間を短縮します。

速度表示	注入時間の目安(秒)		適　用		
	1.8 mL	1.0 mL	浸潤麻酔	歯根膜	口蓋部
H	90	50	○	—	—
M	150	85	○	—	○
L	310	180	○	○	○

『Constantモード』

注射開始から一定速度で注入するモードです。麻酔剤追加投与の際に便利です。

速度表示	注入時間の目安(秒)		適　用		
	1.8 mL	1.0 mL	浸潤麻酔	歯根膜	口蓋部
H	70	40	○	—	—
M	145	80	○	—	○
L	310	180	○	○	○

⚠注意　注射中はモード切替および速度切替はおこなえません。

使用方法
使用方法

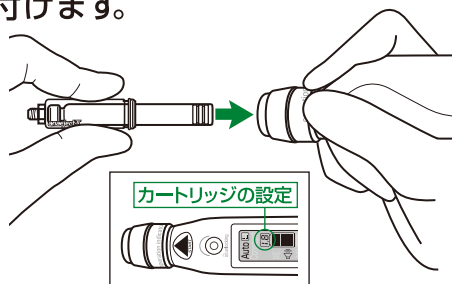
つづく

アネジェクトⅡの使いかた（つづき）

6 カートリッジを装填します。

右図のようにカートリッジホルダーにカートリッジを装填してください。

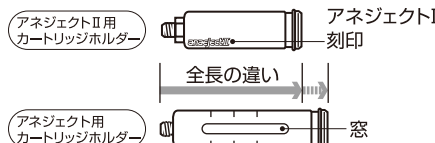
7 カートリッジホルダーを取り付けます。

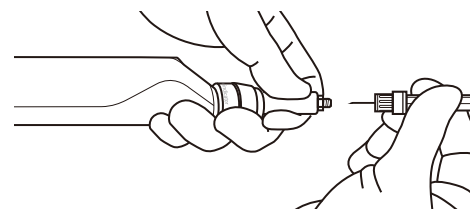
使用するカートリッジとカートリッジの設定が同じであることを確認し、右図のようにカートリッジホルダーを本体に“カチッ”と音がするまでしっかりと取り付けてください。

⚠注意

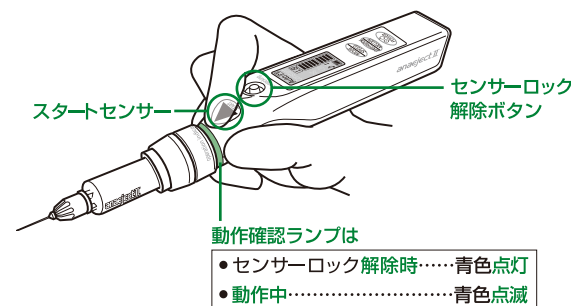
・プランジャーがスタート位置に戻っていないとカートリッジが正しく取り付けられません。電源ボタン（POWER）を2回押して、プランジャーをスタート位置に戻してください。

・使用するカートリッジの種類とカートリッジの設定が異なっていると、カートリッジホルダーが正しく取り付けられません。
カートリッジ/メロディー切替ボタン（CARTRIDGE MELODY）を約2秒間押して、使用するカートリッジの種類と設定を合わせてください。

・着脱リングが前方にスライドしている時は、カートリッジホルダーの取り付けはできません。本体側に手でスライドさせた後、カートリッジホルダーを取り付けてください。

・アネジェクトⅡ用カートリッジホルダーであることを確認して取り付けてください。
誤って、アネジェクト用カートリッジホルダーを取り付けるとカートリッジが正しく装着できません。

8 歯科用注射針を取り付けます。

下図のようにカートリッジホルダーを回転しないよう指で固定して、歯科用注射針を取り付けてください。

9 動作確認をします。

注射針でけがをしないように気をつけて、針キャップをはずしてください。**センサーロック解除ボタン**を押して、**スタートセンサー**▲のロックを解除してください。**スタートセンサー**▲に指で触れ、注射針内のエアー抜きも兼ねて針先から麻酔剤を数滴出し、動作確認をしてください。

スタートセンサーのロックについて

誤作動を防ぐため、通常、**スタートセンサー**▲には指で触れても反応しないようにロックがかかっています。
センサーロック解除ボタンを押すと、**スタートセンサー**▲のロックは解除され、**スタートセンサー**▲が反応するようになります。
ロック解除後、何も操作せず、**30秒間放置する**と自動的に**スタートセンサー**▲にロックがかかります。

カートリッジホルダーについて

歯科用注射針の種類により取り付け可能なカートリッジホルダーは異なります。カートリッジホルダーと歯科用注射針の組み合わせは以下の通りとなります。

ネジタイプ、ロックタイプ両用の注射針

カートリッジホルダー、カートリッジホルダー ロックタイプどちらでもお使いいただけます。

ネジタイプ用の注射針（※）

カートリッジホルダーでお使いいただけます。

※テルモ株式会社製「セフティーナDN」はネジによる取り付けのみ可能です。

⚠警告

歯科用注射針を取り付けずに動作させないでください。過大な負荷がかかり、カートリッジホルダーやカートリッジが破損し、けがをする恐れがあります。

⚠注意

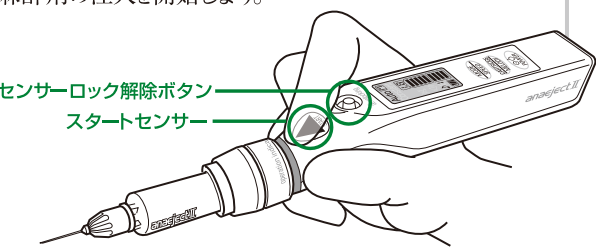
注射針装着後は針刺し事故に十分注意してください。

つづく

アネジェクトⅡの使いかた（つづき）

10 注射を開始します。

カートリッジホルダーを回転させ、注射針の刃先を最適な向きに合わせてください。

スタートセンサー▲のロックが解除されていることを確認した後、スタートセンサー▲に指で触れてください。麻酔剤の注入を開始します。

スタートセンサーについて

・使用しているセンサーの特性上、素手の場合、グローブ着用時よりも反応しにくくなります。
・スタートセンサー付近に直射日光を当てると、スタートセンサーが反応しなくなるので注意してください。

11 注射を停止します。

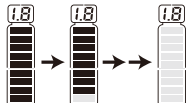
スタートセンサー▲から指を離してください。動作確認ランプは消灯し、麻酔剤の注入を停止します。部位を変えて再び注射する時は、スタートセンサー▲のロックが解除されていることを確認した後、再度スタートセンサー▲に指で触れてください。カートリッジを最後まで押し切った場合は自動的に注射を停止し、約5秒後、プランジャーがスタート位置に戻り始めます。

⚠注意

余圧により麻酔剤が飛び出す恐れがあるので、停止後1〜2秒してからゆっくり針を抜いてください。

Autoモードで注射を中断した場合

初期状態に戻るので、再開時には低速で注入されます。

動作確認ランプの点滅速度について

点滅速度は注入速度に対応しています。

注入速度	点滅速度
低速	ゆっくり
高速	はやい

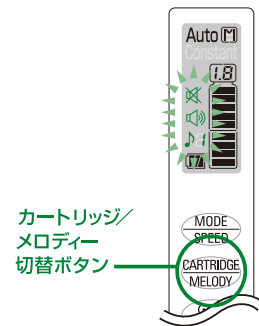
※Autoモードを選択している場合、注入速度がゆるやかに上がる間は点滅速度も合わせて段階的にはやくなります。

注入量の確認方法

以下のいずれかにより注入量の確認がおこなえます。

ディスプレイ 0.2mL注入ごとに目盛りが1つずつ消えます。	動作確認ランプ 0.6mL注入ごとにフラッシュ光を発します。	ブザー音（ブザー音選択時のみ） 0.6mL注入ごと、カートリッジを最後まで押し切ったときにブザー音が鳴ります。
1.8mLカートリッジ使用時 1.8 → 1.8 →→ 1.8	注入量 / フラッシュ光 0.6mL / 1回（1.5秒間） 1.2mL / 2回（1.5秒間×2回）	注入量 / ブザー音 0.6mL / ピー 1.2mL / ピーピー 1.8mL / ピーピーピー
1.0mLカートリッジ使用時 1.0 → 1.0 →→ 1.0	注入量 / フラッシュ光 0.6mL / 1回（1.5秒間）	注入量 / ブザー音 0.6mL / ピー 1.0mL / ピーピーピー

注射中のメロディー機能について

お好みにより注射中にメロディーを流すことができます。カートリッジ/メロディー切替ボタン（CARTRIDGE MELODY）を押してメロディーを選択してください。注射中のメロディーが不要の時はブザー音または消音を選択してください。

♪1〜6	ボタン操作音および注射中のメロディーが鳴ります。 メロディーの種類 ♪1：ジュ・トゥ・ヴ　♪2：おお、スザンナ　♪3：春の歌 ♪4：花のワルツ　♪5：夢路より　♪6：汽車ポッポ
🔊	ボタン操作音および注入量確認音が鳴ります。
🔇	警報音やお知らせ音以外の音は鳴りません。

⚠注意　メロディー、ブザー音は本体後方に内蔵されたスピーカーから出ています。本体後方のシールに触れたり、異物が付着すると、音量や音質に影響がでることがあります。

つづく

アネジェクトIIの使いかた（つづき）

ブザー音および警報音について

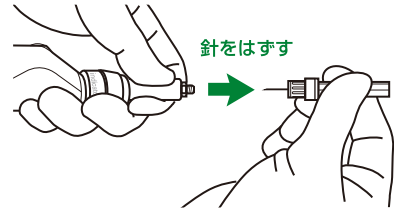
事　項	♪1〜6	音あり	消音
電源を入れたとき	プピッ		
カートリッジを切替えたとき	ピッ→ピピッ（1.8→1.0mL）プッ→ププッ（1.0→1.8mL）		
注入モードを切替えたとき	ピッ	ピッ	無 音
注入速度を切替えたとき	ピッ(Auto) プッ(Constant)	ピッ(Auto) プッ(Constant)	無 音
メロディーを切替えたとき	ピッ	ピッ	無 音
スタートセンサーのロックを解除したとき	ピプッ	ピプッ	無 音
スタートセンサーがロックされたとき	ピプッ	ピプッ	無 音
注射を開始したとき	メロディースタート	ピッ	無 音
0.6 mL注入したとき	メロディー	ピー	無 音
1.2 mL注入したとき	メロディー	ピーピー	無 音
カートリッジを最後まで押し切ったとき	ピーピーピー		
注射を停止したとき	メロディーストップ	ピピッ	無 音
過大な負荷がかかったとき	ピピピピピッ		
バッテリー残量が少なくなったとき	ピピピッピピピッピピピッピピピッピピピッ		
バッテリー残量が更に少なくなったとき	ピピピッピピピッピピピッピピピッピピピッ…		
プランジャーが正常に動作しなくなったとき	ブブブブブブブブブブッ		
ソフトウェアのエラーが発生したとき	ブブブブブブブブブブッ		
電源を切ったとき	ピー		

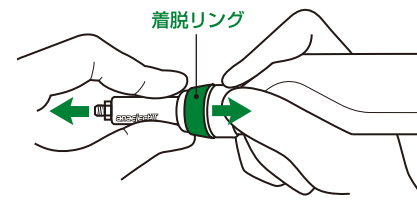
注射後の取扱い

1 電源を切ります。

電源ボタン（POWER）を約2秒間押し、電源を切ってください。

2 歯科用注射針をはずします。

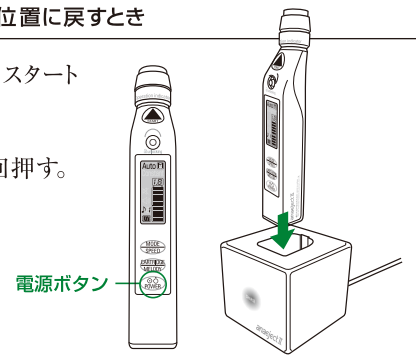
歯科用注射針をカートリッジホルダーからはずしてください。

3 カートリッジホルダーをはずします。

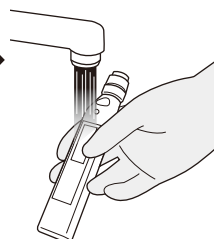
着脱リングをスライドさせ、カートリッジホルダーを本体からはずしてください。

オートパワーオフ機能

10分間何も操作をおこなわないと自動的に電源が切れます。
また、充電器にセットした場合も自動的に電源が切れます。

プランジャーをスタート位置に戻すとき

前進したプランジャーは以下のいずれかの方法でスタート位置に戻すことができます。

① 電源を入れた状態で **電源ボタン**（POWER）を2回押す。
② 本体を充電器にセットする。

日常のお手入れ

本体

注射後は消毒用エタノールを含浸した布、ガーゼなどで拭いた後、乾いたやわらかい布で仕上げ、常に清潔に保ってください。

本体が汚れた時は以下の方法で洗浄してください。

① 本体の電源が切れていることを確認した後、本体が泡で隠れる程度にアネジェクトⅡ用クリーナーをスプレーしてください。

② **約3分放置**した後、十分に水洗いしてください。

③ 本体の水分を乾いた布などでしっかりと拭いてください。

※カートリッジホルダー接続口の周辺や内部の乾燥が不十分な場合は、デンタルユニットに付属の3ウェイシリンジのエアーで乾燥させてください。

⚠注意

- 電源を切ってから洗浄してください。
- 超音波洗浄器には入れないでください。
- アネジェクトⅡ用クリーナー以外の洗浄剤は使用しないでください。
- ブラシやスポンジなどは使用しないでください。
- お湯で洗わないでください。
- 強い水流(例えば、蛇口やシャワーから肌にあてて痛みを感じるほどの強さの水流)を直接あてないでください。
- 本体ケースに破損や割れがある場合やシールの剥がれがある場合には洗浄しないでください。
- 温風(ドライヤーなど)をあてないでください。
- 強圧のエアー(技工用のエアーなど)をあてないでください。
- 消毒薬などに浸漬しないでください。
- オートクレーブ滅菌やケミクレーブ滅菌はおこなわないでください。
- 防水性能を維持するために、2年に1度防水パッキンなどの交換をおすすめします。

防水性能を維持するために

異常の有無に関わらず、必ず2年に1度の定期点検と防水パッキンなどの交換が必要となります。

- 本体ケースの外観に変化(破損、割れ、キズ、変形、変色など)がある場合は本体ケースを交換することをおすすめいたします。
- スタートセンサー部や操作パネル部、本体後方のシールの外観に変化(剥がれ、浮き上がり、割れ、キズなど)がある場合はシールを交換することをおすすめいたします。

充電器・ACアダプター

定期的に消毒用エタノールを含浸した布、ガーゼなどで拭いた後、乾いたやわらかい布で仕上げ、常に清潔に保ってください。
ACアダプター接続口は、乾いたやわらかい布や綿棒で乾拭きしてください。

⚠注意

- 防水仕様ではないので、洗浄はできません。
- 充電器にACアダプターを接続したまま清掃はおこなわないでください。
- ACアダプターはコンセントから抜いた後に清掃してください。
- 充電は本体、充電器、ACアダプターが完全に乾燥した後におこなってください。

カートリッジホルダー

注射後は以下の方法で洗浄・滅菌してください。

アネジェクトⅡ用クリーナーの場合

全体が泡で隠れる程度にアネジェクトⅡ用クリーナーをスプレーしてください。
約3分放置した後、十分に水洗いしてください。

その他の器具洗浄液の場合

お使いの器具洗浄液の洗浄方法に従い、洗浄してください。

オートクレーブ(**乾燥工程を除く**)またはグルタラール製剤で滅菌してください。
滅菌後は乾燥して、常に清潔に保ってください。

⚠注意

- オートクレーブ滅菌をする際、乾燥工程は除いてください。
- 有機溶剤や次亜塩素酸ナトリウム水溶液には浸漬しないでください。

保管方法

ゴミ・ほこりがつかない清潔な場所に保管してください。直射日光を避け、涼しい場所に保管してください。

⚠注意

故障を防ぐために次のような場所では保管しないでください。

- UV殺菌灯付保管庫
- 不安定な場所、振動の多い場所
- 高温または極端に低温な場所(保管温度範囲:−10〜45℃)
- 湿度が高い場所(保管湿度範囲:10〜90%)

定期点検

機能の確認と防水性能の維持のために、定期点検は2年に1度おこなうことをおすすめします。
お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。

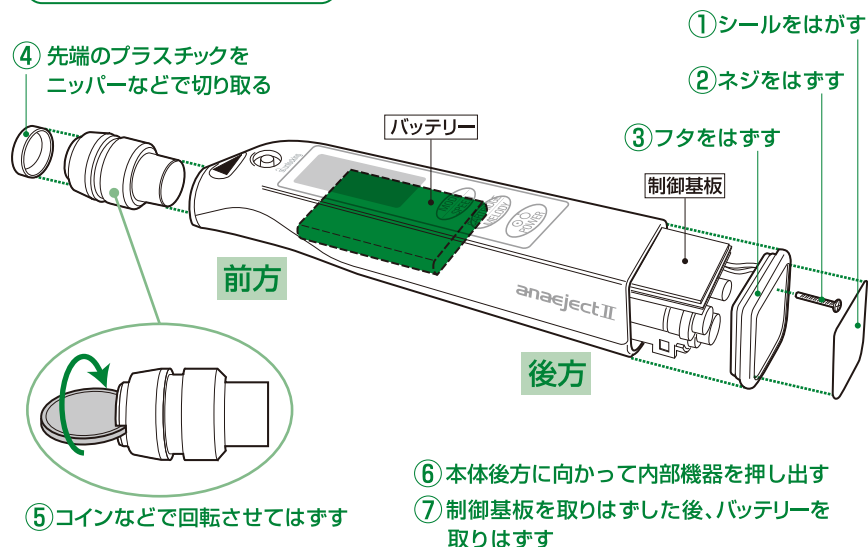
廃棄方法

- 使用済みのカートリッジ、歯科用注射針は医療廃棄物です。各自治体の法規制に従い、適切な方法で廃棄してください。
- 本体は、バッテリーを取りはずし、各自治体の法規制に従い、適切な方法で廃棄してください。
- バッテリーやカートリッジホルダー、充電器、ACアダプターは、各自治体の法規制に従い、適切な方法で廃棄またはリサイクルしてください。

⚠注意

取りはずしたバッテリーは、発熱、発火、破裂の恐れがあるため、次のような行為はしないでください。
- 火への投入や加熱
- 衝撃を与える
- 分解・改造
- ⊕と⊖を金属などで接触させる
- 金属と一緒に持ち運ぶ、保管する

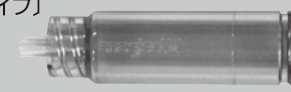
この図は廃棄するための図であり、修理用の図ではありません。取りはずしたバッテリーは、各自治体の法規制に従い、廃棄またはリサイクルしてください。

Li-ion

消耗品の交換

（別売品）アネジェクトII用 カートリッジホルダー（3本）

カートリッジホルダーは長期の使用により劣化します。本体への取り付けが不安定になった場合や白濁や割れ・変形がみられる場合は新しいカートリッジホルダーに交換してください。

〔ネジタイプ〕

〔ロックタイプ〕

（別売品）アネジェクトII用 クリーナー（300mL）

本体の洗浄にはアネジェクトII用クリーナーをお使いください。

バッテリー

本体に内蔵のリチウムイオンポリマーバッテリーは充放電の繰り返しにより劣化いたします。(約500回の充放電が可能※使用条件により異なります)十分に充電してもすぐにバッテリー切れを起こす場合はバッテリーの交換時期となっておりますので、お買い求めの販売店にバッテリー交換をご依頼ください。なお、保証期間外のバッテリー交換は有料となりますので、あらかじめご了承ください。

⚠注意

専用のバッテリー以外は使用しないでください。バッテリー交換はお買い求めの販売店にご依頼ください。

異常または故障時の処置

警報が鳴ったとき

警報音	意 味
「ピピピピピピッ」	プランジャーに大きな負荷がかかっています。 一旦注射を終了し、動作確認の後、注射部位を変えて注射をおこなってください。繰り返し警報が鳴る場合は本体駆動部に異常がある可能性がありますので、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
「ピピピッピピピッピピピッピピピッピピピッ」 「ピピピッピピピッピピピッピピピッピピピッ…」	バッテリー残量が少なくなっています。 充電のしかたに従い、本体の充電をおこなってください。→P.10
「ププププププププププッ」	プランジャーが正常に動作しなくなっています。 お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
「ププププププププププッ」	警報音が鳴ると同時にディスプレイの表示が点滅していたら、ソフトウェアのエラーです。お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

故障かなと思ったら

次のような症状が発生したときは、以下の手順で対処してください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない	充電されていない	充電のしかたに従い充電してください。→P.10
	バッテリーの劣化、スイッチ故障、ソフトウェアのエラーなど	お買い求めの販売店に修理またはバッテリー交換をご依頼ください。
充電されない	ACアダプターが正しく接続されていない	DCプラグをACアダプター接続口に最後まで確実に差し込んでください。→P.10
	本体が充電器に正しくセットされていない	本体の向きを確認し、充電器に正しくセットしてください。→P.11
	バッテリーの交換時期	お買い求めの販売店にバッテリー交換をご依頼ください。
カートリッジが正しく装着できない	使用するカートリッジの種類とカートリッジの設定が異なっている	カートリッジ/メロディー切替ボタン（CARTRIDGE MELODY）を約2秒間押し、カートリッジの設定を合わせてください。→P.14
	プランジャーがスタート位置に戻っていない	電源ボタン（POWER）を2回押して、プランジャーをスタート位置に戻してください。→P.14
	誤ってアネジェクト用カートリッジホルダーを取り付けている	アネジェクトII用カートリッジホルダーを取り付けてください。→P.14

症　状	考えられる原因	処　置
カートリッジホルダーが装着できない	着脱リングが本体側に戻っていない	着脱リングを本体側に戻してください。→P.14
	本体のカートリッジホルダー接合部が汚れている	本体を洗浄してください。→P.20
	カートリッジホルダーが破損している	新しいカートリッジホルダーに交換してください。
ブザー音やメロディーが鳴らない	「」に設定している	カートリッジ/メロディー切替ボタン（CARTRIDGE MELODY）を押してお好みの設定に切替えてください。→P.17
	スピーカーの故障、ソフトウェアのエラーなど	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
スタートセンサーに触れても注射を開始しない	スタートセンサーのロックを解除していない	センサーロック解除ボタンを押して、スタートセンサーのロックを解除してください。→P.15
	スタートセンサー付近が汚れている	本体を洗浄してください。→P.20
	スタートセンサーに直射日光があたっている	直射日光があたるとスタートセンサーが反応しなくなります。直射日光があたらないようにしてください。
	スタートセンサーの故障	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
注入速度の異常	正しく速度設定をしていない	注入モード/注入速度切替ボタン（MODE SPEED）を押して、お好みの設定に切替えてください。→P.12
	注射針の異常	新しい注射針に交換してください。
	ソフトウェアのエラー	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
変な音がする	ギアのかみこみ	まれに動作を開始したと同時に「カチッ」というギアのかみこみ音がすることがありますが、問題なくお使いいただけます。
	本体駆動部の故障	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
注射中に止まる	スタートセンサーから指が離れている	スタートセンサーに指で触れて、再度注射を開始してください。→P.16
	本体駆動部の故障	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
動作確認ランプが点滅しない	ソフトウェアのエラーなど	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
ディスプレイが点滅している	ソフトウェアのエラー	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
ディスプレイの表示が見えにくい	ディスプレイの故障	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
本体ケース内に水が入った	本体ケースの割れ、破損にともなう水の浸入	お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

万一、本体および充電器を落下させるなどにより、不具合が発生した場合は、使用を中止して弊社にご相談ください。

異常または故障時の処置

仕様

分　類	管理医療機器・特定保守管理医療機器	
電　源	充電器電源電圧	AC　100V(50/60Hz)
	本体電池電圧	DC　3.7V　500mAh
ACアダプター出力	DC 6V	
電撃保護	内部電源機器（B型機器）	
注入速度の目安	Autoモード　（H）	50秒/mL
	（M）	85秒/mL
	（L）	180秒/mL
	Constantモード（H）	40秒/mL
	（M）	80秒/mL
	（L）	180秒/mL
寸　法	本体	D 26×W 159 ×H 29 mm
	充電器	D 63×W63×H 57mm
重　量	本体	約 150g
	充電器	約 70g
	ACアダプター	70 − 110g
使用条件	周囲温度	10～40℃
	相対湿度	10～85％（結露のない状態）
	周囲気圧	70～106 kPa
輸送・保管条件	周囲温度	-10～45℃
	相対湿度	10～90％（結露のない状態）
	周囲気圧	70～106 kPa
本体ケース材質	ポリカーボネート樹脂およびスチレン系樹脂	
充電器ケース材質	ABS樹脂	

その他

医用電気機器の使用上（安全および危険防止）の注意事項

この使用上の注意の記載は、供給電源の定格電圧又は使用電圧範囲中の最大電圧が15V以下のものについては省略することができ、また、機器によっては関係のない注意事項を省略することができる。

1. 熟練した者以外は機器を使用しないこと。

2. 機器を設置するときには、次の事項に注意すること。

（1）水のかからない場所に設置すること。
（2）気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置すること。
（3）傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安全状態に注意すること。
（4）化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
（5）ACアダプターの電圧及び周波数に注意すること。
（6）バッテリーの充電状態（バッテリーのインジケーター）を確認すること。

3. 機器を使用する前には次の事項に注意すること。

（1）スイッチの接触状態、インジケータ類の点検を行い、機器が正常に作動することを確認すること。
（2）すべてのコードの接続が正確でかつ安全であることを確認すること。
（3）バッテリーの充電状態（バッテリーのインジケーター）を確認すること。

4. 機器の使用中は次の事項に注意すること。

（1）診断、治療に必要な時間・量をこえないように注意すること。
（2）機器全般及び患者に異常がないことを絶えず監視すること。
（3）機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。

5. 機器の使用後は次の事項に注意すること。

（1）定められた手順により電源を切ること。
（2）コード類のとりはずしに際しては、コードを持って引抜くなど無理な力をかけないこと。
（3）保管場所については次の事項に注意すること。
　ⅰ 水のかからない場所に保管すること。
　ⅱ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
　ⅲ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安全状態に注意すること。
　ⅳ 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
（4）付属品、コード、導子などは清浄したのち、整理してまとめておくこと。
（5）機器は次回の使用に支障のないように必ず清浄しておくこと。

6. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。

7. 機器は改造しないこと。

8. 保守点検

（1）機器及び部品は必ず定期点検を行なうこと。
（2）しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

その他